

質疑回答書

令和7年5月28日

件名 ひたちなか市クラウド型電話交換機導入等業務プロポーザル

下記のとおり回答いたします。

この質疑回答書は、質疑期間中に提出された全ての質問及び回答を掲載したものです。

質問番号	質問事項	回答
1	「着信時に任意のメッセージを設定できること。」について、どの端末を対象とし、どのようなメッセージを設定することを想定しておりますでしょうか。	全端末で、録音することを相手に伝える場合や開庁時間外の着信に対して翌開庁日の再連絡を依頼するものを想定しております。
2	「現在利用している中継台と同等の運用方法を提案すること。」について、当該中継台の現在の運用方法をご教示ください。	中継台4台に対して電話交換手を配置し、内容を聞き取った上で担当課へ電話を繋いでいます。クラウド化後についても、多機能電話等を使用した同等の運用のご提案をお願いします。
3	「キャリア音声回線網を利用し、本業務における PBX と連携することができること。」について、データ/パケット通信ではなく、通常の通話や FMC での音声通話という事で相違ないでしょうか。	ご認識のとおりです。 音声品質を担保する観点から、アプリ FMC ではなく、キャリア FMC を条件としております。
4	『PBX と連携できる電話帳アプリ』について、ここでの連携とは、アプリを利用した PBX 内線/外線発信が可能という事で相違ないでしょうか。	ご認識のとおりです。 電話番号を押さずに、スムーズな発信ができることを意図して記載しております。
5	『データ通信』ならびに『国内通話』について、『全回線分を共有』のイメージについてご教示ください。	データ通信については、スマートフォン1台あたり2GB\月以上利用可能としており、導入台数が330台であるため、660GBを全台で共有できることを想定しております。
6	固定 IP 電話機は、録音することを通話の相手方に知らせることができる機能とありますが、クラウド PBX 側で同様の機能があれば、不要との理解で宜しいでしょうか。	ご認識のとおりです。
7	『既存スイッチが設置されていない場合には、直近スイッチからの LAN 配線を行うこと』とありますが、費用については別途の理解で宜しいでしょうか。	本業務に含むこととしております。